



NO. 2292
2022. 4. 3

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智友
いわぶち
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX 24-4096

無料生活相談所

徹
長者町11-26
24-2414

加藤 鈺一
宝徳 仲田56
64-3941

菅井 巖
中 楯 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

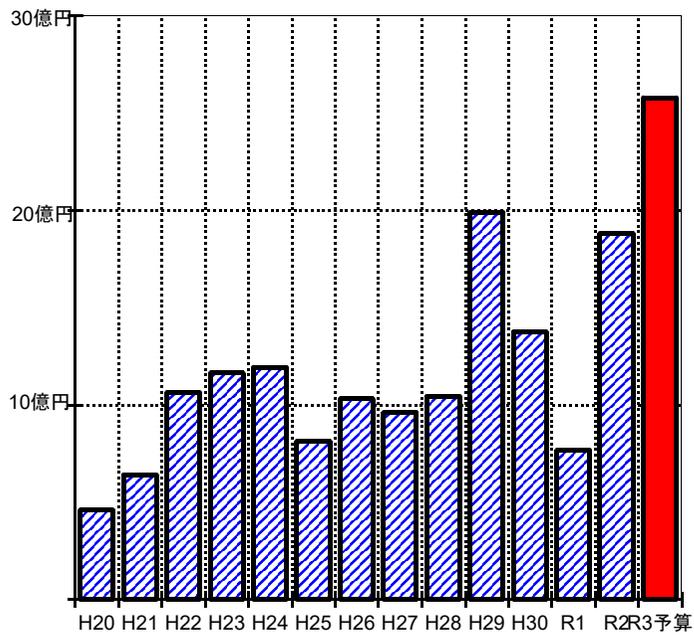
「敵基地攻撃検討しない」真会が反対

3月市議会閉会 市当局提案はすべて全会一致

鶴岡市議会3月定例会は23日、閉会しました。市当局提案の令和4年度各会計当初予算9件、専決処分承認1件、専決処分承認1件、補正予算4件、条例6件、事件5件、人事2件、最終日に追加提案された令和3年度一般会計補正予算、及び教育長人事が、全会一致で可決承認されました。

市当局提案の令和4年度各会計当初予算9件、専決処分承認1件、補正予算4件、条例6件、事件5件、人事2件、最終日に追加提案された令和3年度一般会計補正予算、及び教育長人事が、全会一致で可決承認されました。

鶴岡市の除雪対策費決算額の推移



3年度一般会計補正は、豪雪に伴う除排雪作業委託料等の増額5億9200万円を追加し、総額を81.4億951万円としました。3年度除雪対策費は、3月議会補正予算で25億7881万8千円と過去最高額になります。任期満了に伴う市教育長の任命では、布川敦教育長が再任されました。

「戦没者遺骨含む土砂を使うな」請願継続審査に
請願では、「人道的見地から沖繩戦戦没者の遺骨等を含む土砂を採掘し埋め立てに使用しないよう国に意見書提出を求める請願」(戦没者の尊厳を考える市民の会代表・漆山ひとみ)は、継続審査になりました。
11日の厚生常任委員会(菅井巖委員長)で、請願者の発言が全員賛成で認められました。請願者の意見聴取は、休憩中に行われ、委員会の会議録には記載されません。
敵基地攻撃能力で命は守れない
日本共産党市議団が提案した意見書は2件で、「水田活用の直接交付金の見直しに関する意見書」は、全会一致で可決されました。「敵基地攻撃能力の保有」の検討を行わないことを求める意見書「は、共産党市議団と市民の声・鶴岡、市民フォーラム、SDGs鶴ヶ岡の計10人が賛成し、新政クラブと公明党、無所属の計17人が反対し、否決されました。
反対討論で佐藤昌哉議員(新政)は、「国民を守るために、憲法

女性市議4人が「新型コロナウイルス感染症対策への市政要望」

鶴岡市議会の女性議員4人が、子育て世代の市民の要望を聞き、皆川市長に対して24日、「新型コロナウイルス

望しました。懇談では「子どものワクチン接種について、保護者から不安の声も届けられている、接種するかしないか決定するために、安心できる情報提供をお願いしたい。ワクチン接種後の子どもへ、どのような影響があるか検証されていない。アンケート調査や長期に渡る追跡調査を独自に行って、本市の子どもを見守る体制を作ってほしい。」等の声を届けました。



ル感染症対策への市政要望」を提出しました。(写真、左から2人目が坂本昌栄議員)5〜11歳へのワクチン接種について情報提供や、異常・異変があった際の速やかな対応、「予防接種健康被害救済制度」の周知、コロナワクチン接種の有無に関わらず差別をしないよう、子どもへの指導と保護者への周知について等を要

2022年3月議会 賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対)

議案	声		SDG		フォ		共産党		公明党		無所属		新政クラブ															
	遠藤	草島	田中	南波	石井	工藤	長谷川	坂本	菅井	加藤	秋葉	富樫	黒井	中沢	佐藤	小野	佐藤	佐藤	阿部	本間	石塚	佐藤	五十嵐	尾形	本間	渋谷	菅原	
「敵基地攻撃能力の保有」の検討を行わないことを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

JCP 鶴岡地区HP

「公務と公務外の認識不足を」と表明

市議会政倫審 徹底追及の声に新政ク「意図的ではない」

鶴岡市議会議員政治倫理審査会が、3月22日と29日の両日開かれました。

委員長は富樫正毅議員、副委員長は坂本昌栄議員、委員は石井清則議員、阿部寛議員、佐藤昌哉議員です。

22日は、審査請求者への聴取が行われ、29日は審査対象の五十嵐一彦、石塚慶、渋谷耕一、本間信一、本間新兵衛各議員への聴取が行われました。

審査対象議員は、「費用弁償の把握と、自分のスケジュール管理が不足していた」、「政務活動費の手引きの把握が出来ていなかった」、「公務と公務外の認識が不足していた」などと弁明しました。

委員からは、「新政クラブが調査したものを根拠に提出されているが、新たに出てきたものがある」と出されましたが、委員長から「審査が拡大していくため、請求されたものに沿うように」と指摘されました。

委員から、「公務との重複と、手引きに沿わない報告の具体的な日時は」、「議会事務局からの指摘をどこまで共有したのか」などの質問が出されました。

会計責任者の石塚慶議員は、「その都度共有し、多少修正を求め、数回にわたって行った」と答えました。

聴取後、「徹底追及しないと議会の信頼が得られない」、「まだまだ

だ疑念があると報告すべきだ」などの意見が出されました。

一方、新政クラブの委員からは、「意図的な不正ではなく、不適切なものだ」との意見が出されました。

次回4月4日10時から、議員政治倫理基準に違反する行為かどうか、「存否」について協議されます。

学校と地域の協働・融合した部活動の実現を目指す

令和3年度第1回鶴岡市スポーツ推進審議会が、3月24日開かれました。

会長に村田久忠氏（市スポーツ少年団本部長）、副会長に山本

（1面のつづき）

賛成討論で坂本昌栄議員（共産党）は、「岸田首相は、敵基地攻撃能力の保有は国民の命を守るためと言うが、ロシアの軍事侵略を見て、人間の命が守られていると言えるか。命を守る行動は、対話による以外に出来ることはない。」

相手が軍事や、力の論理、核兵器で威嚇してきた場合、こちらも軍事でいこう、力でいこう、核兵器で行こう

益生氏（鶴岡体育協会会長）を選出しました。学校の運動部・文化部と、地域の連携の在り方に関する検討会議が、令和3年9月と、4年1月の2回開催されました。

市推進審議会

今後のスケジュールは、4年4月～5年3月に、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ

長谷川剛議員と坂本昌栄議員が傍聴しました。

少年団・保護者会クラブ、民間クラブ・合同部活動のいずれかの方法で、土日の地域移行が可能かどうか、検討するための話し合いの場を設け、5年4月から、地域の実態に応じた学校と地域の協働・融合した部活動の実現を目指していくこととです。

ごみ処分場の調整池 地震で一部崩落

日本共産党市議団が現地調査

3月16日に発生した、福島県沖を震源とする地震が、鶴岡市でも震度4が観測され、上郷・大荒地区の一般廃棄物最終処分場内では、防災調整池の法面



が横10m×高さ5mにわたって崩れたとの報告があり、菅井巖市議と坂本昌栄市議が現地調査を行いました。埋設地から出る浸出水は、薬剤や、ろ過装置を用いて処理された後に、公共下水道に接続され流されており、被害はありません。しかし、今回被害があった「防災調整池」は、それ以外の周辺から流れ出た水を一旦貯めて川に流すために、施設の最前方に配備されているものです。

現場案内した担当者の説明では、法面は、植物などの種を被覆して法面保護を行っているが、施設運用から間もないことや、日当たりなどで植生にばらつきがある等の課題が示されました。今回の地震によって、そうした箇所が崩れたと推測されます。最終処分場の建設中には、大雨などにより下流域の側溝に土砂が流れ出たこともありま

土砂流出を防ぐために、防災調整池が果たす役割は大変重要で、早急な修繕工事と万全の対策が求められます。

土木課入札結果（ ）内は予定価格

- 3月24日入札分
 - ・松根羽黒線防護柵設置工事(債務負担行為)(黒川地内)(入札4業者) 五十嵐組 2,350,000円 (2,420,000円) (落札率97.12%) 工期～工事開始日から60日間(余裕期間設定工事)
 - ・道形文下蛾眉橋線道路改良工事(債務負担行為)(文下地内)(入札5業者) ユーワ(株) 8,200,000円 (8,510,000円) (落札率96.36%) 工期～工事開始日から124日間(余裕期間設定工事)

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

- 3月23日入札分
 - ・市公共下水道事業 汚水K301～K306号新設工事(清水新田地内)(入札12業者うち5業者辞退) (株)浅賀建設 79,700,000円 (82,310,000円) 工期～5/1/31 (落札率96.83%)
- 3月22日入札分
 - ・市公共下水道事業 汚水K201～K213号新設工事(下興屋地内)(入札11業者うち2業者辞退) (株)三浦土建 78,600,000円 (79,410,000円) 工期～12/23 (落札率98.98%)